

公民館だより さくらぎ

平成19年11月号

No. 236

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp



子供と親と地域が

同じ土俵に立つ

桜木に
新しい文化が
芽生える



「さくらぎフェスタ・文化祭」が、10月20・21日の両日、桜木小学校で開かれ、3000人の文化人が芸術の秋を満喫しました。

今年の新しい企画は、屋内ステージ発表が野外ステージに移されたことです。オープン

ステージの開放感、音も風に流され消えてしまったり、陽の光も千変万化する生きたステージでの発表でした。小・中・大学生からお年寄りまで、様々な世代が手を取り合って踊ったフォークダンスは圧巻で、新しい桜木文化の誕生を思わせました。

フェスタ・文化祭 展示の部

- ☆作品展示講座
13講座・・・294点
- ☆一般出品者
29名・・・78点
- ☆文化団体
5団体・・・16点
- ☆ミニ体験コーナー・・・4点

10月の活動記録簿



10/16~22

職場体験学習

学習者 周陽中2年
吉松恒紀くん「活動風景」

老連 連日の活動

10/17 文化祭もちつき

10/18 資源物回収

実習生の吉松君1日会員で大活躍



「地域の先生」大活躍

10/9 マッフ学習(5年)

10/10 老連との交流学习(4年)

10/24 ふれあい

おもちゃランド(2年)

市長との「周南再生まちづくり」懇談会開催される

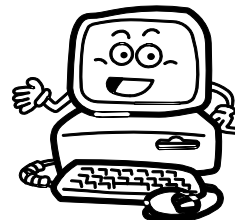
去る10月19日(金)桜木・周陽・秋月の3地区合同の懇談会が開催されました。

桜木地区からは田村コミュニティ会長ほか各種団体より15名が参加し、当地区の現状や活動状況を説明し桜木地区の最重点課題として次の3点について代表質問を行った。

- (1) 地下道バリアフリー化について(地区自治会連合会、安部副会長)
 - (2) 徳山社会福祉センターバス使用改善について(地区社協、逆井会長)
 - (3) 災害時要援護者に関する情報共有について(地区自主防災、高久事務局)
- それぞれの事項について、市・担当部長より答弁が有り、内容は後日他の質問・要望事項等の回答書が届き次第地区担当事務局よりご報告いたします。

(地区自治会連合会 事務局長 高久)

まちづくり
情報





講座紹介

運営委員さんによる

《リレー方式》

『絵手紙の会』

次回は...

今年で4年目をむかえる会です。公民館活動の「さわやか女性教室」から始まって、絵手紙の楽しさを学びました。

その後は、同好会として続いております。「へたでいいから」と言われる花田先生の、言葉に引っぱられて、うまくのせられて、美女が集まり、その中に野獣も一人加わって、いつも楽しく描いております。

筆の一番上の所を持って、ゆっくり書きはじめること。

「こんなこと始めてー」と、戸惑いましたが、この時ばかりは、日頃のがさつさを一寸忘れて、おしとやかにスローペースに挑んでいます。

人それぞれに物の見方の違う、表現の楽しさを味わっています。

(運営委員 国広 佳子 記)

開催日時は毎月第3木曜日

午前9時30分〜11時30分

さわやか女性教室

てづくりパン 10/2



- メニュー
- ・マヨネーズパン
- ・ダッチタイガーブレッド



講演会

10/9

エコクラフト 10/23



- 梱包ヒモが
- 1.ハサミでたち切り
- ・・・
- 4.ニスで強くして
- 素敵なかごが完成。メダシ、メダシ



講演「見えないものを観る」
「いい人はいいね」
テーマに迫っていく先生の
話術が、次々とファンを
つくっていきます。

公民館花壇



今は、次の春に向けて土づくりの最中です

19年度「周南市花壇コンクール」(地域・職域・団体の部)において、公民館の『桜木パブリックガーデン』が、優秀賞を受賞しました。

花の種類が多く、四季を通じて美しく咲いていることが評価されました。

11月 さくらぎカレンダー

13日(火) 今宿西友会との交流スポーツ大会[老連]

18日(日) 地区ソフトバレー大会(8:30~)

昨年の優勝チームは、桜1A・城5A・桜3B・平原Dでした。

勝ち進んだ力は技だけでしょうか？
しっかり応援してください。

19日(月) 向道湖福祉農園作業[老連]

20日(火) 桜木小学校30周年記念式典

- ・記念式典
- ・記念音楽鑑賞会

で創立30周年のお祝いをされます。

《俳句コーナー》

・朝霧に 挨拶残し 子らの列

・野仏の 顔染めあげし 秋夕焼

・遠き日は 瞼にありて 銀杏散る

・翳雲 海に生まれて 山に消ゆ

・鳥々の 影つなぎ会ふ 秋没日

(一洋)

【 雑記帳 】

文化の日(に)思う

国東半島には、他地域との定期発着のある港が三つある。大分空港がその一つ。そして、他の二つは、竹田津港と国東港であり、相手港は、何れも山口県の徳山港である。(以下略)

大分合同新聞コラム「灯」

筆者永岡様は、国東半島の歴史、文化をこよなく愛され、また、海路を往き来されることから徳山動物園にも立ち寄りられると聞きます。

新米教師の頃、徳山港から船で竹田津港に渡り、国東半島の石仏やお寺を巡る計画を立てたことがあります。案内を永岡様にお願ひしたところ、「ご多忙な会社経営を差し繰って終日ご案内いただきました。」

大分県の教育委員長に在籍中、校内研修会の卓話をお願ひしたこともあり、「教育について思う」と題し、子どもの躰け三点を挙げられました。

- ・物を大切にすること
- ・父母を大切にすること
- ・隣のおじさんに挨拶ができること

30年も前に今の心のひすみを読み取っておられたのでしょうか。「先生がんばれ！」と励ましながら、五衛門風呂や「川」の字の寝方の大切さ等、生活のなかの教育を熱心に説かれたものです。

現在は、「宇佐神宮と国東半島を世界遺産にする会」の顧問として日本の文化を世界に発信しております。

文化の日が近づき、我が国の教育の進む道をたずねてみたいくなります。